

## 2022年度の学校評価

### ア 自己評価結果等

<p>本年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ姿勢を育み、学力の基礎・基本を養成するための授業改善を推進する。</li> <li>教育活動全体を通して、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることを目指す。</li> <li>キャリア教育の理念に立ち、一人ひとりの進路目標の実現に向けて支援体制の充実を図る。</li> <li>円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を維持する。</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>広報活動 (総務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的な広報活動の展開を図る。</li> <li>コロナ禍でのPTA活動の在り方を模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生やその保護者の興味を高める学校案内を作成する。</li> <li>ホームページを中心に、本校進学を志す中学生向けの広報活動をより一層推進する。</li> <li>生徒主導の学校説明会を開催する。</li> <li>教職員全員がPTAとの連携を一層強めることで、保護者との信頼の醸成を図る。</li> <li>保護者対象の研修会や進路講演会等を可能な限り実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校案内は、管理職と担当者等と報告・連絡・相談を行い作成できた。</li> <li>ホームページを早く更新し、学校行事、部活動の状況、試合結果等の最新情報を掲載できた。</li> <li>生徒会執行部が司会進行役で学校説明会を開催し、中学生・保護者より高評価を得た。</li> <li>保護者対象の進路説明会を6月末に実施、進路講演会に合わせてPTA授業参観を行い、多数の保護者に来校いただいた。来年度も今の流れを継続させたい。</li> </ul>
<p>授業の活性化 (教務部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒主体の授業実践を目指し、情報機器の活用も含めた授業改善に取り組む。</li> <li>3年間を見通した指導計画に基づいて「総合的な探究の時間」を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業や研究授業の実施を推進し、授業改善に取り組む雰囲気醸成を図る。</li> <li>本校が長年組み立ててきた「総合的な探究の時間」の計画をベースとし、外部資源も活用しながら、生徒が自ら課題を見つける活動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターを活用した講義、生徒がタブレットで共同編集したスライド等を発表する授業など、授業改善が進みつつある。授業実践の共有という意味でも、教員相互の授業参観を一層進めたい。</li> <li>生徒が課題発見・解決に使用するツールとして、ICTを活用することができた。</li> </ul>
<p>キャリア教育の推進 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供と情報の整理(全学年)</li> <li>進路意識を高める(3年)</li> <li>基本的な学習習慣の確立(1・2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌の配布・配架</li> <li>進路講演会等の実施</li> <li>模擬試験や進路適性検査の活用</li> <li>学年と連携した特別講座等の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌を活用し、情報共有を徹底していきたい。</li> <li>「総合的な探究の時間」やLT等を利用してキャリア教育をより充実させていきたい。</li> </ul>
<p>交通安全 (生徒指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時間をきちんと守らせ、時間に余裕を持たせることにより、通学マナーの向上と交通事故防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻防止指導を強化し、時間に余裕を持って登下校させる。</li> <li>自転車利用五則を周知徹底させる。</li> <li>安全委員の活動を促して自発的な安全行動を引き出す。</li> <li>交通安全教室を通して、交通ルールの重要性や命の大切さを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期は事故件数が減少したため、報告件数は例年並みに留まったが、遅刻数は増加したことは残念である。次年度は遅刻指導の在り方も見直していきたい。また、交通マナーに関する地域の方からの御指摘の数は減少したが、今後も交通安全指導には力を入れていきたい。</li> </ul>
<p>校内美化 (保健部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内美化を推進し、奉仕の精神や社会貢献の意識を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員による全清掃分担区域の点検を行い、点検結果を清掃監督に報告させる。</li> <li>清掃区域や分担など清掃場所の実情に合わせてるように調査し、効果的な清掃ができるよう再考する。</li> <li>職員会議や校内放送を利用して、職員及び生徒に対して、季節・天候などに応じた重点目標を示していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員の活動を促し、例年より清掃をしっかりと行うことが出来た。</li> <li>トイレの改修もあり、清潔な状況を保てるように今後も努力させたい。</li> <li>清掃区域や分担などについては改善策が出ていない状況でここまで来ているので、来年4月に向けて改善を進めていきたい。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校行事 (特別活動部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策をしっかりと取りながらも、可能な限り正規の形を失わないように学校祭などを実施する。</li> <li>・部活動時間の厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常にコロナ対策を念頭に置きながら、企画する。</li> <li>・生徒会行事は、生徒が自らの手で企画・運営をしていく必要性があることを理解させる。</li> <li>・生徒の役割分担を明確にする。</li> <li>・時間に余裕の持てる、無理のない計画を立てさせる。</li> <li>・部活動の活動場所を巡回する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会行事は、一人一人が自分の役割をしっかりと理解し、生徒が主体となって行い、コロナ以前に限りなく近い形で実施することができた。しかし、体育祭をきっかけに体調不良者が続出したため、対策をどうするかが今後の課題である。</li> <li>・部活動時間については顧問の協力もあり、しっかりと守ることができた。</li> </ul>
読書活動 (図書情報部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書啓発(朝読の充実)</li> <li>・教科における図書館利用の活性化(調べ学習等)</li> <li>・校務及び授業におけるICTの利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の図書館利用を促進し、朝読のより一層の充実を図る。</li> <li>・公立図書館の団体貸出を利用した教科活動や部活動での利用を促進する。</li> <li>・情報機器の整備と充実化を図ると同時に、職員ICT研修などのICT啓発活動も引き続き行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員を活用し、「移動図書館」や文化祭での「ミニビブリオバトル」やハロウィーン企画「BOOKの福袋」などを開催し、生徒の読書活動の活性化に努めた。また、愛知県図書館や豊明市立図書館での「ビブリオバトル」にも出場し、本校生徒が上位入賞を果たし、活躍した。</li> <li>・2年生修学旅行の「広島平和学習」の調べ学習に公立図書館の団体貸出を利用して、支援した。</li> <li>・生徒一人一台タブレットの整備に尽力し、ICT環境の充実にも努めた。今後は、職員の授業でのICT活用を推進していきたい。</li> </ul>
基本的な生活習慣の 確立 (第1学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊明高校生として必要な基本的な生活習慣を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝読」指導を始めとして、授業規律の遵守や身の回りの整理整頓など落ち着いて学習に向かう環境を作る。</li> <li>・授業を中心に、特別講座や模擬試験を交えながら、学習に向かう姿勢を作り、進路意識を高める。</li> <li>・行事に積極的に参加させ、学校生活の楽しさを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話の使用を始め、集団生活を送る上で必要なルールを、学年集会で指導した。朝読書は落ち着いて行っているが、遅刻数が入学当初より増加傾向にあるため、次年度以降もしっかりと指導していきたい。</li> <li>・特別講座は習熟度別に行い、充実した講座を実施することができた。</li> <li>・学校祭にも積極的に参加した。また、学年レクを行い、クラスや学年の親睦を図った。</li> </ul>
中心学年としての 役割を果たす (第2学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの進路意識を高め、進路目標を具体化する。</li> <li>・行事等において中心学年としての役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に必要な進路情報が得られるよう、生徒に情報収集の方法を示す。</li> <li>・行事におけるリーダーを育成し学年のけん引力とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行に向けての平和学習や班別研修の準備を充実させることができた。恒例の1年生に向けての報告会に対して大変意欲的に取り組み、実施後の反省の中でより良い発表を目指したいという意欲も見られた。コロナ禍の中、無事に修学旅行を実施することができたことが何よりの幸いである。</li> <li>・3学期は「進路達成プログラム」や「志望理由書添削」を活用しながら進路を自分事として考えられるよう意識付けをしてゆく。</li> </ul>

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導 （第3学年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の充実を図り、それぞれが主体的に選択した進路目標を達成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律を大切にす。</li> <li>主体的に選択できるように、進路情報を提供する。</li> <li>特別講座への積極的な参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期以降は進路決定者が増えたが落ち着いた雰囲気では学校生活を送ることができた。進路決定者の一部で学習意欲が低下したことがあったので注視していく。</li> <li>早くから進路情報を提供し進路選択を促した。「総合的な探究の時間」では選択した進路を深めるために発表資料作りを行ったが、積極的に取り組むことができた。今後の進路実現につなげていきたい。</li> <li>特別講座への参加人数は減少傾向になってしまったが、参加生徒の意識は高く保つことができた。</li> </ul>
いじめ防止対策の推進 （いじめ不登校対策委員会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止に係る取組を充実させる。</li> <li>いじめの早期発見、適切な事案の対処に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、生徒が主体となっていじめ防止をテーマとした活動を行う機会を設ける。</li> <li>いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。</li> <li>いじめアンケートの実施方法や、その後の対処の在り方について検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は年2回のアンケートを実施し、いじめの早期発見や予防につながった。次年度は回数を増やし、6月、10月、2月に実施する予定である。Web上でのアンケートは、生徒も安心して回答でき、集計もスムーズであるが、回答率がやや低下した。全員が回答できるように働きかけていきたい。</li> </ul>
勤務管理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の適正化を図り、教職員の健康維持に配慮した体制の維持に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校時間等の状況記録の集計結果等を衛生委員会で確認し、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員に対して、その都度面接指導の希望の有無について確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外在校時間が80時間を超える教職員に対して、面接指導希望の有無の確認はその都度行ったが、希望者はいなかった。遅くまで勤務している教職員に労いの言葉をかけるとともに、健康維持のため適切に休養を取るよう助言した。</li> </ul>

## イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>教 務 授業の充実による学力の向上</li> <li>生徒指導 日常的な通学マナーの向上</li> </ul>
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の充実に向けて、授業規律を正し、集中して授業に取り組める環境を作るとともに、あいちラーニング推進事業重点校の指定を受け、教師・生徒ともにICT機器を活用した授業展開をより一層進める機運になっている。生徒一人一人が主体的に取り組めるような授業工夫を引き続き進めていきたい。</li> <li>通学マナーの向上を図るため様々な啓発活動を行っており、地域からの交通マナーに関する要望が減少した。今後も根気よく継続的に交通安全意識を高めていきたい。</li> </ul>
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学びのために、各教科での取組み目標を教員間で共有し実践する。また、研究授業や公開授業週間を効果的に活用して、多くの教員に参観を促し授業改善への意識付けを行いたい。</li> <li>校門遅刻寸前の生徒同士が学校近隣で接触事故を起こすなど、まだまだ危険な場面がある。今後も全校体制で啓発活動や登下校指導、および保護者への交通安全指導への協力依頼等を継続していきたい。</li> </ul>
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献、学校公開、体験活動などが、コロナ過が断続的に続く中でもできるようになってきた。今後もより積極的に取り組んでほしい。</li> <li>中学生やその保護者は、高校選択をする際に、「校則」・「卒業後の進路先」を気にしている。生徒や卒業生の「声」がもっと伝えられるとよい。広報活動は、学校HPだけでなく、インスタグラムなどのSNSを活用してもよいのではないか。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成…学校評議員4名、PTA役員（保護者）</li> <li>評価時期…10月～11月、1月～2月</li> </ul>

## 経営管理上の問題点等

施設・設備等で老朽化が進んでいる箇所が見られる。安全点検や衛生委員会による校内巡視を確実にを行い、修繕等が必要であれば迅速に対応し、学習環境の整備に努めていく。